

交付運用報告書

GCIオルタナティブバスケット・ ファンドV10（ラップ専用）

追加型投信／内外／資産複合／
特殊型（絶対収益追求型）

第3期＜決算日 2021年6月15日＞

作成対象期間：2020年6月16日～2021年6月15日

第3期末（2021年6月15日）	
基準価額	9,253円
純資産総額	1,302百万円
騰落率	4.1%
分配金合計	0円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10（ラップ専用）」は、このたび第3期の決算を行いました。

当ファンドは、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドを通じてGCI アセット・マネジメントのオルタナティブ戦略（指定投資信託証券）に投資することにより、中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して積極的な運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の方法により閲覧、ダウンロードすることができます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセスし、「ファンド」から当ファンドの詳細ページを表示させ、当該ページから運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。

なお、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

株式会社GCIアセット・マネジメント

東京都千代田区西神田3-8-1

お問い合わせ先

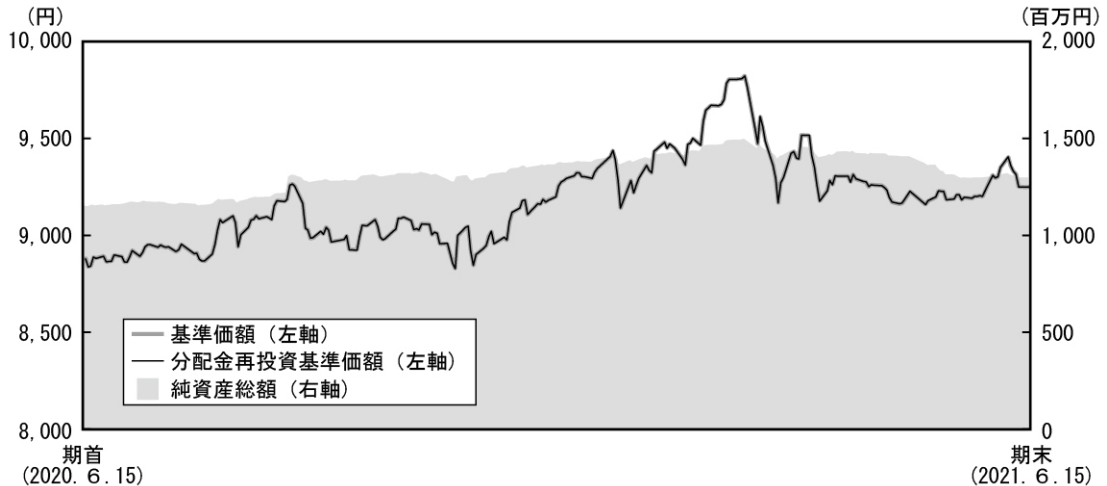
クライアント・リレーションズ・グループ

TEL：03-3556-5040（営業日の9:00～17:00）

URL：<https://www.gci.jp>

運用経過

■当期中の基準価額等の推移



期 首：8,885円

期 末：9,253円（既払分配金（税引前）：0円）

騰 落 率：4.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は上昇し、当期間のリターンは+4.1%となりました。

マザーファンドにて組入を行った投資信託証券のうち、主に、期を通して組入上位でありました「GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM」が上昇したことがプラスに影響しました。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第 3 期		項目の概要
	2020年6月16日～2021年6月15日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	126円	1.364%	(a)信託報酬の総額＝(1)基本報酬＋(2)成功報酬 基本報酬＝期中の平均基準価額×基本報酬率 期中の平均基準価額は9,202円です。 委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価 交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 ファンドの運用実績に応じて投信会社が受け取る運用の対価
(1) 基本報酬	126	1.364	
(投信会社)	(121)	(1.320)	
(販売会社)	(1)	(0.011)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	
(2) 成功報酬	—	—	
(b) その他費用	8	0.083	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(監査費用)	(8)	(0.083)	
合計	134	1.447	

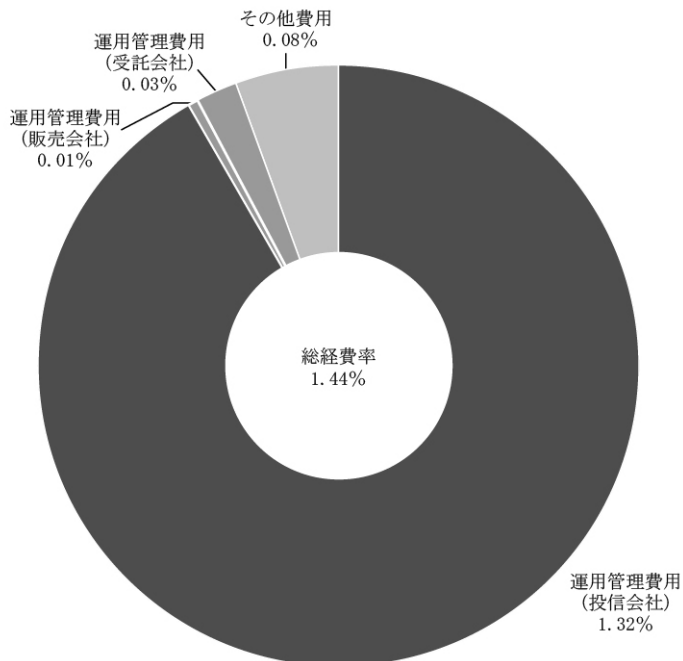
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

（参考情報）総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.44%です。



(注) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) マザーファンドの投資対象先ファンドが支払った費用の比率は、単位未満のため表示していません。

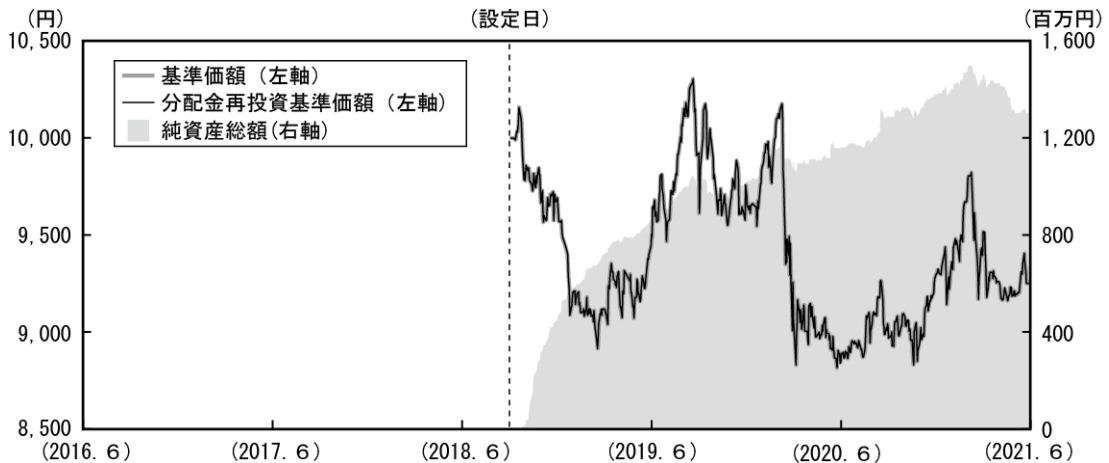
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移

最近5年間の推移

（2016年6月15日～2021年6月15日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

最近5年間の年間騰落率

	2018年9月20日 設定日	2019年6月17日 決算日	2020年6月15日 決算日	2021年6月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,447	8,885	9,253
期間分配金合計（税引前） (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△5.5	△5.9	4.1
純資産総額 (百万円)	10	861	1,157	1,302

（注）設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

（注）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

（注）騰落率は、1年前の決算応答日との比較です。ただし、2019年6月17日の騰落率については、設定日との比較です。

（注）純資産総額の単位未満は切り捨てています。

■投資環境

【国内債券】

当期の国内債券市場は下落（金利は上昇）しました。期の前半は特段の材料がないなか10年国債利回りは0%台前半での推移が継続しましたが、11月の米国大統領選挙でバイデン氏が勝利しインフレ懸念などから米国金利が上昇すると、国内金利も上昇（債券価格は下落）基調となりました。日銀が長短金利操作における長期金利の変動幅を拡大するとの思惑も加わり、10年国債利回りは0.18%まで上昇する場面も見られましたが、期の後半にかけては、米国金利の上昇一服を受け国内金利も低下に転じ0.1%を下回る水準で推移しました。

【国内株式】

当期の国内株式市場は上昇しました。期の前半は新型コロナウイルスの感染が拡大するなか緩やかに上昇しましたが、米国大統領選挙でのバイデン氏勝利やその後の大規模な経済対策の成立、新型コロナワクチンの開発・普及を受け米国株式が大きく上昇すると、国内株式も上昇基調を強めました。日経平均株価は2021年2月に約30年半ぶりに30,000円を回復しましたが、期の後半にかけては欧米と比べたワクチン接種の遅れや、度重なる緊急事態宣言の発出などが重石となり、上値の重い展開となりました。

【外国債券】

当期の外国債券市場は下落（金利は上昇）しました。期の前半は各国中央銀行の大規模な金融緩和の下、米国10年国債利回りは0.6%～0.8%程度での推移が継続しましたが、米国大統領選挙以降は、バイデン政権による大規模な経済対策などから財政悪化や景気過熱によるインフレの加速が意識され、金利は急上昇しました。米国10年国債利回りは一時1.7%台後半まで上昇しましたが、その後は、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレの加速は一時的であり現行の金融緩和政策を当面継続するとの姿勢を示したため金利上昇は一服しました。欧州金利は、新型コロナウイルスの感染拡大が続き2021年初までは低下したものの、米国金利の上昇や欧州でのワクチン普及による景況感改善などをを受け上昇しました。

【外国株式】

当期の外国株式市場は上昇しました。世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大するなかでも、各国政府・中央銀行の大規模な財政・金融政策や米国ハイテク企業の好調な業績、新型コロナワクチン開発への期待などに支えられ、米国株式は上昇基調で推移しました。バイデン政権による大規模な経済対策が成立しワクチン接種が進展すると株価は一段と上昇する展開となりましたが、期の後半にかけては、米国金利の上昇が嫌気され、米ハイテク株を中心に上値が重くなる場面も見られました。欧州株式は、都市封鎖（ロックダウン）などの強い行動制限が取られたため期の前半は上値が重く推移しましたが、米国株式の上昇や新型コロナワクチン普及による経済活動再開への期待から上昇しました。

【為替相場】

当期の為替相場は、対ドルで円は下落しました。期初から2021年初にかけてはFRBによる大規模な金融緩和政策が長期化されるとの見方からドル安基調で推移し1ドル＝102円台まで円高が進行しましたが、バイデン政権が誕生し財政拡大・インフレ懸念などから米国金利が上昇するとドルは上昇に転じ、1ドル＝110円台まで円安が進行しました。欧州では新型コロナウイルスの感染拡大が続いたものの、期の後半にかけてはワクチン接種が進展し景況感が改善したことなどから、対ユーロでも円は下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドでは、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主に当社が運用に関与するオルタナティブ戦略（指定投資信託証券）に投資を行いました。マザーファンドへの投資については、当期を通じて当ファンド全体の組入比率を高位に保ちました。

マザーファンドにおいては、定性評価、定量評価等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行い、当期間においては投資対象とする投資信託証券のうち、「GCIシステムティック・マクロファンド Vol110 クラスM」、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」の2ファンドに投資を行いました。

期末におけるマザーファンド内での、各投資信託証券の組入比率は、「GCIシステムティック・マクロファンド Vol110 クラスM」が88.9%、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」が9.7%となっております。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配は行いませんでした。

なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目		第3期
		2020年6月16日～2021年6月15日
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

【GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10（ラップ専用）】

引き続き、運用の基本方針に従い、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、当社が運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券に投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

【GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド】

マザーファンドの運用については、投資信託証券への投資にあたり、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行う方針です。なお、市況、各種評価等を勘案し、新たな投資対象ファンドを追加する場合があります。

お知らせ

◇約款変更

該当事項はありません。

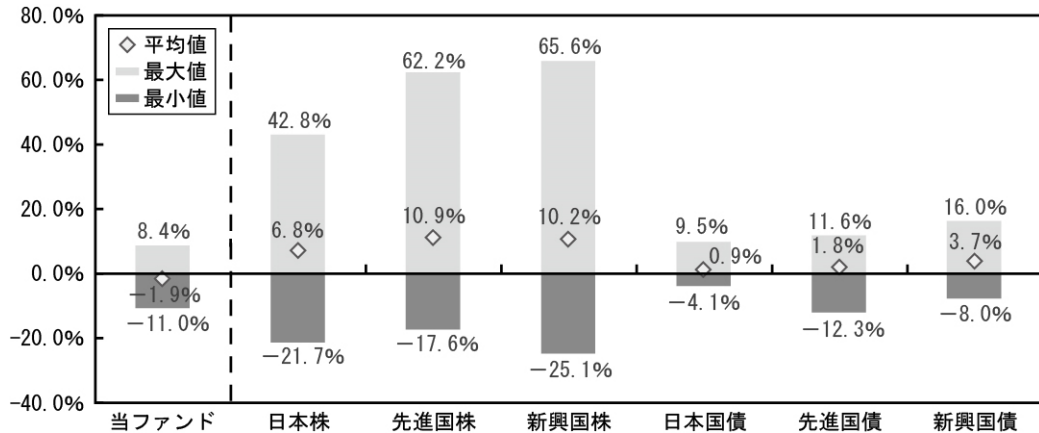
◇運用体制の変更

該当事項はありません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	無期限（設定日：2018年9月20日）	
運用方針	中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して積極的な運用を行います。	
主要投資対象	GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10（ラップ専用）	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド受益証券
	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	日次の流動性をもち、かつ株式会社GCIアセット・マネジメントが運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券
運用方法	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、株式会社GCIアセット・マネジメントが運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券に投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。 投資信託証券への投資にあたっては、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行うことを基本とします。	
分配方針	年1回（6月15日、当該日が休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。 ・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・ 収益分配金額は、上記の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。（ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。）	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



期間：2016年6月～2021年5月

- (注) 当ファンドについては2019年9月～2021年5月の1年9ヵ月間、他の代表的な資産クラスについては2016年6月～2021年5月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示し、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての代表的な資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率を記載していますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

＜代表的な各資産クラスの指数＞

日本株：Morningstar日本株式指数
 先進国株：Morningstar先進国株式指数除く日本
 新興国株：Morningstar新興国株式指数
 日本国債：Morningstar日本国債指数
 先進国債：Morningstarグローバル国債指数除く日本
 新興国債：Morningstar新興国ソブリン債指数

※全て税引前の利子・配当込みの指数値を使用しています。海外資産の指数については、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数値を使用しています。

《各指数の概要》

日本株：Morningstar日本株式指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar先進国株式（除く日本）指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar新興国株式指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar日本国債指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstarグローバル国債（除く日本）指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

＜重要事項＞

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstar インデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。

上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstar グループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えばこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載しています。

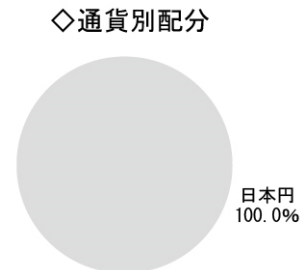
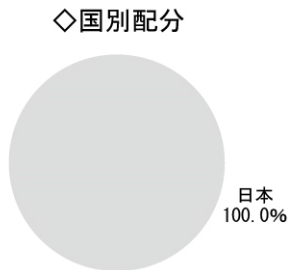
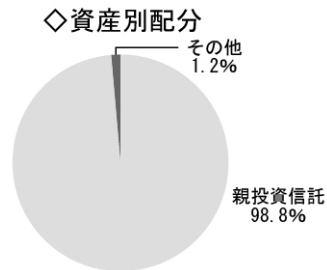
◇組入ファンド等

（組入銘柄数：1 銘柄）

	第3期末 (2021年6月15日)
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	98.8%
その他	1.2%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

（注）その他は現金・未払金等です。



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

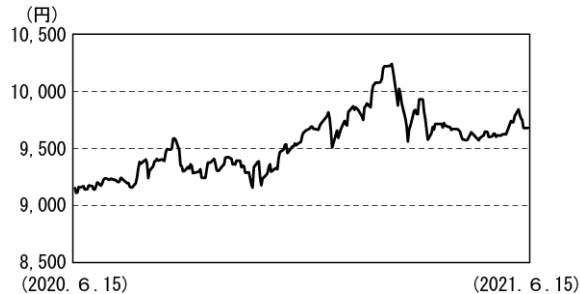
項目	第3期末 2021年6月15日
純資産総額	1,302,498,381円
受益権総口数	1,407,638,251口
1 万口当たり基準価額	9,253円

（注）当期中における追加設定元本額は484,530,939円、一部解約元本額は379,136,594円です。

■組入上位ファンドの概要

《GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド》

◇基準価額の推移



◇1万口当たりの費用明細

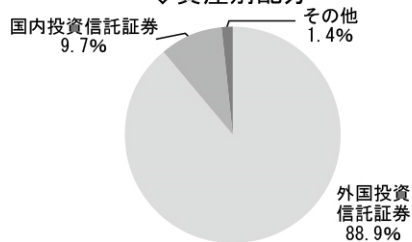
該当事項はありません。

◇組入ファンド等

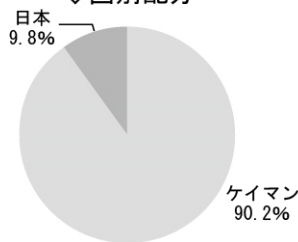
2021年6月15日

	銘柄名	種類	組入比率 (%)
1	GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスM	投資信託証券	88.9
2	GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF (適格機関投資家専用)	投資信託証券	9.7
組入銘柄数			2銘柄

◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 1万口当たりの費用明細は、各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

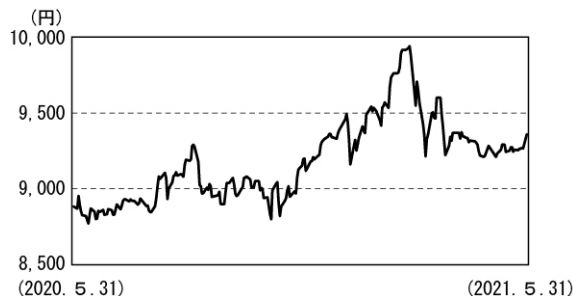
(注) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注) 組入銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

《GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド》における主要組入ファンドの概要

「GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスM」（計算期間 2020年6月1日～2021年5月31日）

◇基準価額の推移



◇1万口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載していません。

◇組入上位10銘柄

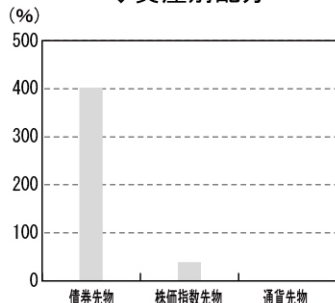
2021年5月31日

	銘柄	種類	通貨	国	組入比率 (%)
1	2-Yr US Treasury Note Futures Sep 21	債券先物	USD	米国	198.2
2	10-year JGB Futures Jun 20 Jun 21	債券先物	JPY	日本	125.1
3	30-Yr US Treasury Bond Futures Sep 21	債券先物	USD	米国	44.7
4	French 10-Year Bond Future Jun 21	債券先物	EUR	ドイツ	17.5
5	Long Gilt Futures Sep 21	債券先物	GBP	英国	16.5
6	E-mini S&P 500 Futures Jun 21	株価指数先物	USD	米国	13.9
7	CAC-40 Index Futures Jun 21	株価指数先物	EUR	フランス	9.2
8	Nikkei 225 Futures Jun 20 Jun 21	株価指数先物	JPY	日本	9.1
9	E-mini NASDAQ-100 Futures Jun 21	株価指数先物	USD	米国	3.5
10	DAX Futures Jun 21	株価指数先物	EUR	ドイツ	1.8
組 入 銘 柄 数					11銘柄

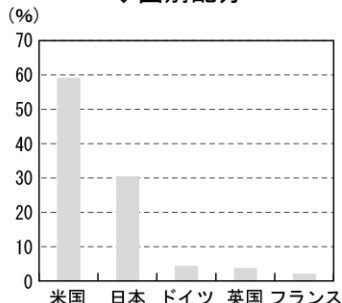
(注) 銘柄は、GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスMが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地および債券は発行体の所在地です。

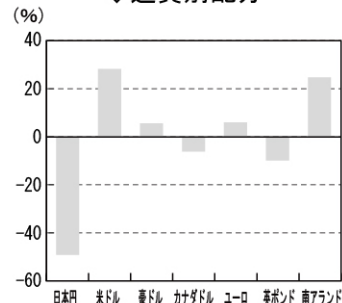
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄にかかるものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。

(注) 国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。

(注) 通貨別配分は、基準通貨に関する割合です。